

違約金の 2億2千万円はどこに？

田中寿夫 議員
(市民 21)

◆東京狭山線の代替地取得について、地価が取得時の10分の1以下になっている。これで、最少の経費で最大の効果が上がったと言えるか。

市長 土地の価格は、バブルがはじけ大幅に下落したことによるものである。用地取得の際の価格は、鑑定評価を実施していることから、当時としては適正であったと認識している。

◆狭山市には懲罰規定があるかどうか。抵触して処分を受けた場合、報酬及び退職金の支払いに対しての影響はどうか。

総務部長 明文化された懲罰規定は検討中であり、現時点ではない。現在は、処分の公正を期するため、職員審査委員会を設置して処分の可否等を審査している。処分を受けた場合は、給料の減給や退職金の一時差し止め等が条例に規定されている。

◆狭山市富士見一丁目の登記問題の更正手続きは完了しているか。まだの場合、その理由は何か。

総務部長 土地開発公社が是正の事務を進め、現在、関係機関と協議を継続しているとのことである。

◆水野字松ヶ丘の土地は茶業組合の移転用地として取得した。目的が変更され、東京狭山線の代替用地になっているのはなぜか。

総務部長 確認できる書類が存在しないものの、当初は茶業組合の移転候補地のひとつの経緯もあったが、結果的には東京狭山線の代替地として取得したと聞いている。

◆リサイクルプラザ建設工事の入札で三井造船が落札し、仮契約した。その後相手の都合で解約したが、2億2000万円の違約金はどこに入金されたのか？

これを取らなかった場合、同社の利益を図ったことになり背任行為となるかどうか。

市長 違約金は徴収していない。この契約は議会議決前であることから、法的には予約と解釈される。契約の効力は発生していないため、徴収しなかったことに問題はない。



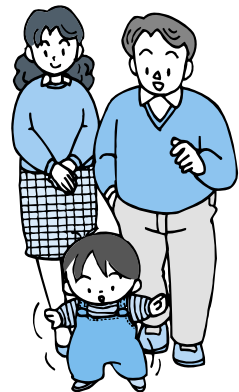
一 般 質 問

小児救急医療の 広域体制の確立を

齋藤 誠 議員
(公明 党)

◆現在、所沢市・入間市・狭山市の3市は、小児救急医療支援事業実施地区として協力体制をとっている。広報さやまの保健センターのページに毎月掲載されているように、入間川病院と西埼玉中央病院の2病院だけで、週3日のみ、夕方6時から翌朝8時まで小児科二次救急医療に対応している。抜本的な小児科医不足に加え、本来初期救急で処置できる患者が二次救急病院に殺到し、担当医師の過剰労働が原因で二次救急医療を引き受ける病院が増えないのだ。そこで県の事業として、小児科医確保のため、補助金を計上したり、内科医等を対象に小児救急医療に関する研修を実施し、休日・夜間診療等における軽症の小児救急患者の診療体制の充実を図っている。また、「#8000番」による「小児救急電話相談事業」も利用者は増えているものの、まだまだPR不足。

24時間365日受け入れ可能な小児救急医療体制を確立するには、まず初期救急医療体制を早急に充実させ、二次救急医療のスムーズな連携体制の構築にある。そのための施設の拡充と小



児科医の確保については、所沢医療圏の3市の広域体制で、市長・医師会長等と財政負担の分担や県の補助金の活用など詳細に協議し、小児救急医療体制の確立を目指して強力に推進すべきであると提言するが、市長のご見解は、市にとって重要な政策課題の一つである。いつでも、どこでも、だれでも受診できる医療環境の構築を図る必要があると認識している。特に小児科救急医療は少子化対策の一環としても確保しなければならぬ。

現在、救急医療体制の構築に向け、所沢保健所を中心とした狭山市、所沢市、入間市で構成される救急医療協議会等で協議しているところである。当面、夜間の初期救急医療体制を確保すべく協議し、市民ニーズに即した地域医療体制の確立に努めていく。また、併せて小児救急電話相談事業の活用もPRしていく。

防災・福祉の 充実について

加賀谷 勉 議員
(公明党)

◆災害時要援護者支援対策について

災害時に、自力で避難することが困難である高齢者や障害のある方など、災害時要援護者の方々を適切に避難させる体制を整備することが、喫緊の課題として求められています。避難支援体制の整備を進めていくためには、常日頃からの要援護者情報の収集・共有が必要不可欠であると考えます。そこで、防災関係部局や福祉関係部局等からなる定期的な協議の場、また、横断的な「支援班」の設置が必要だと考えますが、いかがですか。また、ネットワークの形成に対する進捗状況は？



市民部長

平成19年度から防災課と福祉部各課による調整会議を実施している。引き続き実施し、意思統一を図っていく。支援班は職員だけでなく、自主防災組織を初めとする地域の協力も得て、要援護者支援ができる体制を確立していく。また、要援護者情報のネットワーク化については、個人情報保護を扱うことから慎重に対応し、本人の同意を得るなどして取り組んでいく。

◆危機管理と情報システムについて

ここ数年、国の内外を問わず、これまで例のない頻度と規模で自然災害が相次ぐ中、自治体にとつての危機管理という問題が大きく取り上げられております。こうした問題意識を受け、様々な対策を実施している自治体も多数あります。しかし、これらの対策に真に効力をもたらすためには、情報を収集すること、集めた情報を分析すること、分析した内容を確実に伝達することが重要です。情報の集約がないところに危機管理は遂行できません。地震・災害が起こると、現場は大混乱になります。実践的な体制づくりが重要であり、特に情報システムを活用することを前提とした体制や仕組みの準備が必要だと考えますが？

市民部長

狭山市が長年の防災活動等を通じて積み上げてきた知識、経験や災害時要援護者情報を迅速かつ効果的に活用できるような体制づくりについて調査研究し、狭山市に合ったシステムづくりを進めていく。

一 般 質 問

交通問題・ 国際化への対応について

磯野 和夫 議員
(公明党)

◆交通事故防止対策

千葉県鎌ヶ谷市で取り組んでいる交通事故半減プロジェクトがある。これは、インターネットを活用し、市内の危険箇所の情報を市民から提供してもらうことで、より効果的な交通安全対策を講じるものであり、この取り組みにより、事故件数が4割減少したと報告されている。当市においても導入すべきと思うがどうか。

車の速度超過を防止するため、道路上の白い外側線を引き直し、車道部分を狭くする方法が柏原ニュータウン内で実施された。これには大きな効果が認められるので、ほかの道路でも実施すべきと思うがどうか。

市民部長 当市も市民参加型の交通安全対策に取り組んでいるが、今後、インターネットの活用についても交通事故防止の観点から研究していく。

外側線の引き直しは、安全性が高まると地域の方々から評価いただいている。今後通学路や住宅地において、可能な箇所から実施していく。

◆公共交通機関の充実

来るべき超高齢社会に備えるため、



柏原ニュータウンバス通り

交通弱者である高齢者の利便性を確保するための交通システムを、今から本格的に検討すべきと思うがどうか。

市民部長 茶の花号の見直しの中で、広域的な運行も含め、高齢者の利便性が図れるよう検討していく。

◆自転車のための道づくり

これからの時代は、健康的で、環境にも優しい自転車が交通手段の主流になっていくべきであると考えます。当市も自転車走りやすい道づくりの整備計画を立てるべきと思うがどうか。

市民部長 自転車レーン等を設置する場合、道路の拡幅が必要になるなどの課題がある。今後、道路管理者等と連携を図り検討していく。

◆多言語自動翻訳サービスの導入

市内に住む外国人のために、ホームページに多言語自動翻訳サービスを導入すべきと思うがどうか。

総合政策部長 外国語の併記について、多言語自動翻訳サービスも含め、運用面等から検討していく。

検証可能な 教育施策を求める！

小谷野 剛 議員
(志政会)

◆アクションプランの充実を！

教育立国が国家戦略として位置付けられ、学習指導要領が大幅に改訂された。自治体においては今後、検証可能な教育行政を目指して詳細な振興計画作成が求められる。狭山市には既にアクションプランがあり、一応の体裁は整えているが、まだ不十分である。今後の取り組みは。

◆教育長 アクションプランは、今後

教育振興基本計画と整合性を図りながら、改定作業を進めていきたい。

◆忙しすぎる教員の現状

子供にとって教員の影響力は非常に大きい。年々、事務負担が大きくなり子供に向き合いたくても、困難な現状がある。現場の把握は。

◆教育長 本来の教育活動以外の業務が

増加している。引き続き、事務効率化などを図り、教師が子供たちと向き合う時間を確保できるように努めていく。

◆土曜日の有効活用を

週5日制が開始された頃から学力低下が社会問題となった。学校教育における土曜日の活用は学力向上、行事など現場での時間的なゆとりに大きく寄



より良い教育行政を目指して！

与すると考える。その取り組みは。

◆教育長 現在、土曜日を運動会等の学

校行事に活用している。今後、地域子ども教室の活動を拡充していく中で更なる活用方法を検討していく。

◆最高の授業をすべての狭山っ子に

優秀な先生による授業は学区や学年の壁によって市内全域へと普遍化されていない。教育情報ネットワークを活用し動画配信できないか。インフラと人材を効果的に結び、どんな境遇にある子でも最高の教育環境を与えたい。

◆教育長 動画配信には、児童等の個人

情報が含まれてしまうなどの困難が予想されるが、今後研究していく。

◆明確な結果を示せ！

今年度は他市にない教育関連予算をつけた。他市にない施策の結果は、他に負けない学力、体力の向上という形で示してもらいたい。

◆教育長 結果を示す数値は、公にする

ものではなく、一人一人に示し指導に生かしていくものと考ええる。

一 般 質 問

学校図書館を 充実させよう！

新良守 克 議員
(志政会)

◆児童生徒の読書離れ対策と書籍管理のバーコード化について

学校での読書指導、学校図書館の充実にもっと取り組むべきと考えます。図書購入費の予算として、763万5000円、中学校では537万1000円の予算が計上されているが、学校間で児童・生徒数の格差があり、どのような方法で予算配分しているのか。

また、これまでの図書カードによる手作業での貸し出し・返却や蔵書の管理ではなく、蔵書や資料をデータベース化することにより、貸し出し業務の簡素化、蔵書の検索など、いろいろな面で充実した学校図書館になるのではないかと。ご見解をお願い致します。

◆教育長 図書購入費の予算は、一律配

分だけでなく、児童生徒数や図書の充足率に応じて配分している。

また、図書のデータベース化については、コンピューター等の設備投資、それを担う人的配置が課題になるが、今後、調査研究していく。

◆クラブ活動・部活動の推進について

教育の一環として、市内中学校生徒の93%が部活動に加入しています。し



かし、道具や設備が不十分な環境で、1人当たりの予算が小学校高学年300円、中学校500円では、部活動の活性化になりません。増額を求めます。また、今年度、部活動指導員を30人

に増員していただきますが、それでも行き届かない部活動が出てくるのではないかと。スポーツボランティア制度の活用とか、市内にもトップアスリートや文化人が多数在住・在勤しているのですから、もっと活用してはいかかが。子供たちの将来に望ましい環境を期待しますが、ご見解をお願い致します。

◆教育長 部活動の予算確保に努めてい

く。平成20年度からは、校外活動派遣費の大幅な増額を行い、交通費などに掛かる保護者負担の軽減を図っていく。

また、部活動指導員の増員で、これまで以上に指導の充実が図れるものと考ええる。スポーツボランティア制度の活用も図り、トップアスリートの活用

については今後検討していく。

活動作品の販売・ 商工業の振興

中村正義 議員
(志政会)

◆公民館の文化祭で展示される七宝焼き・陶芸・絵画等の作品の譲渡を希望する見学者がいる一方、作品を販売して活動資金に充てたい団体もあると聞く。一定の条件を設け規制するにせよ、許可すべきと思うが、どうか。

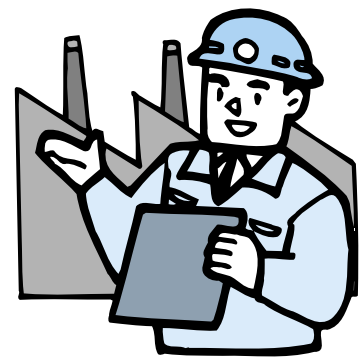
◆教育長 平成20年度の市民文化祭から販売できるよう準備を進めていくが、営利目的でなく、販売価格も実費相当額であるなどの要件を設けていく。

◆当市の法人市民税は平成18年度50億円を超えた。当市において将来とも継続して企業活動ができるようなサービスの提供が求められていると思う。

新狭山地区の空き施設を利用し、商業振興課分室と工業会の事務所を置き、日常の連携が取ればタイムリーな事業展開ができるのではないかと。

◆市長 市内企業と密接な連携を図り、産業活動を支える環境整備に努めていく。また、事務所の設置については、現在、川越狭山工業団地付近で適地を調査しており、この2、3年以内には実現していく。

(15) ◆ジャスト・イン・タイム生産システムの普及でトラック輸送が増大し、工



業地区の工場周辺では大型トラックが納品待ちのため長時間、路上駐車しているのを見受けるが、二酸化炭素排出増加・交通事故増加が懸念される。

◆工業団地周辺にトラックターミナル設置のため関係者の意向を聞くなど、早期実現に向け決断すべき時と思う。

◆市長 トラックターミナル整備の重要性は認識している。引き続き、あらゆる可能性を調査研究していく。

◆狭山工業団地に隣接する柏原西の地域は、平成24年度には県内全線が開通予定の圏央道の狭山日高インターから2km圏内にあり、工業・流通機能等の立地には絶好の場所である。

企業立地に生かすため地権者の意向の十分な把握に努め、工業専用地域への用途変更を推進する中で、将来に向けて税収の確保を図るべきと思う。

◆市長 産業基盤づくりについては、土地利用構想に基づき、あらゆる可能性を調査研究していく。

一 般 質 問

武道館の存続／温暖化 ／駐輪場の割引を

中川浩 議員
(市民21)

◆狭山市駅西口開発

西口の公益施設B棟の建設単価53万円は、リサイクルプラザ(プラザ棟)21万2千円と比べると倍以上で、プールもお風呂も可動式客席ホールもある施設(サピオ稲荷山47万円、サンパーク奥富53万円)と同じくらいかかるのは適正か？

武道館のある区域は、市で一度は公共駐車場を整備すると方向性を定めたが、今日まで武道館利用者に説明はない。武道は、子供や大人が心身を鍛えるのに一番。武道館を閉館する必要は



狭山市駅西口に武道館存続を！

なく存続すべきでは？

◆市長 B棟が料理、工芸のほか、音楽演奏等にも対応できる設備機能を有しているためと理解している。武道館跡地については、市街地にふさわしい利活用の視点から検討し、その結果を踏まえ関係諸団体とも協議していく。

◆市内事業者の発展

都市再生機構がこれまで施行した事業での地元事業者の受注状況と西口再開発の場合は？

◆市長 地元事業者が受注した実績はないと聞いている。西口開発に伴う解体工事事も県外大手企業が受注している。市としては、今後も都市再生機構に市内業者の受注機会拡大を要望していく。

◆得する！(お財布にうれしい)地球温暖化対策「ガソリン価格高騰の折に」

「急加速せず、アイドリングストップして、エコドライブすれば年間6千円お得！」とケーブルテレビで放映するとともに、車にステッカーをはり、道路に横断幕・看板を設置しては？

◆環境部長 ステッカー表示、看板設置等の実現に向け検討していく。

◆狭山市駅東口駐輪場の料金割引を

市の温暖化対策計画の「自転車通勤を奨励、自転車利用がお得になる仕組みを検討、利用の普及を図る」との考え方に沿って、狭山市駅東口駐輪場の料金割引を実施しては？

◆市長 学生利用料金の考え方も視野に検討していくが、温暖化防止対策とは別に取り組んでいく。